



デザイン/山田 あゆみ
サイズ(100~120cm):着丈約60cm

＜使用道具＞
ミシン
ソーイング用具
クロバー手芸ボンド＜フェルト用＞
布用ボンド
(布用強力ボンド「貼り仕事」
もしくは
布補修ボンド＜シリコンヘッド＞)
水性チャコペン＜紫＞
スピードひも通し
アイロン

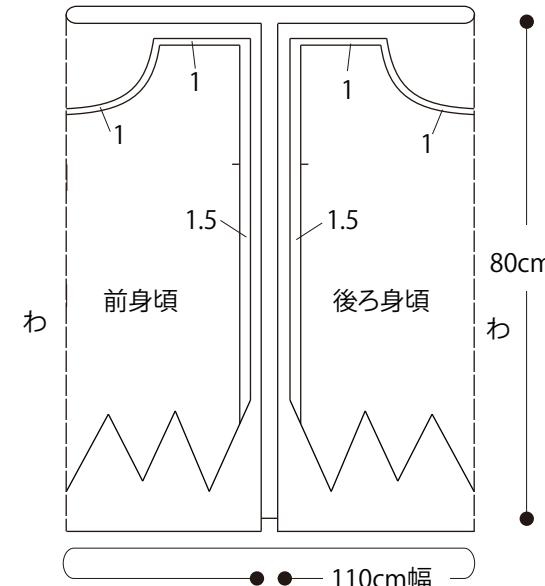
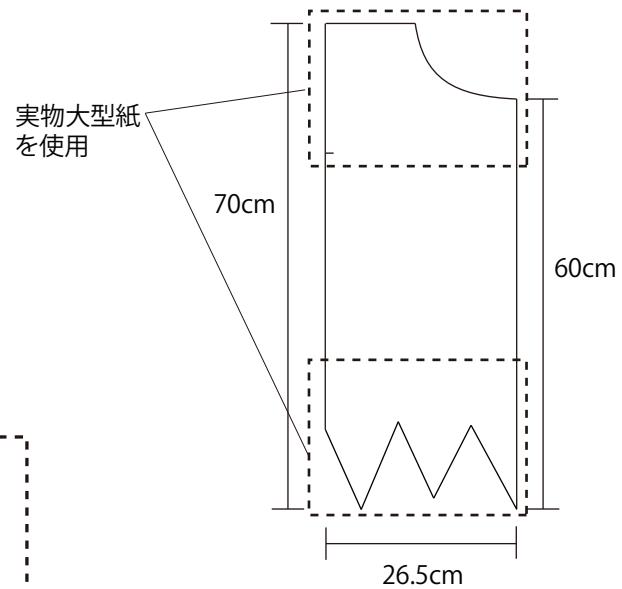
＜材料＞
サテン生地(110cm幅)白 80cm
フェルト 黒 20cm角
バイアステープ 白
(12mm幅・両折れタイプ) 90cm
ゴム(6コール・5mm幅) 約105cm

おばけの衣装(子ども用)

＜作り方＞

①襟ぐりの部分と裾部分は実物大型紙がありますので、下の図のように全体の長さが70cmになるように胴体部分に線を引き、型紙を作ります。ぬいしろを付けてサテン生地を裁断します。

【生地の裁ち方】※身頃の数字はぬいしろ幅(cm)です



★裾のギザギザ部分の裁ち方★

裾は断ち切りですが、ほつれを防止するために布用ボンドで処理します。
(クロバーの「布用強力ボンド『貼り仕事』」や「布補修ボンド＜シリコンヘッド＞」がおすすめです。)

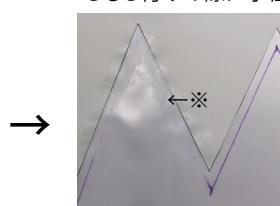
生地に型紙を写し、線に沿ってボンドを薄く塗り広げ、ボンドが乾いたら生地をカットします。

(ボンドが染みるので、生地の下に紙などを敷く)

型紙を線の約5mm内側に置き、型紙に沿って約1cm幅でボンドを塗り、乾いてからボンドの内側のきれいなライン(型紙をあてていた部分)から約5mmのところをカットすると仕上がりがきれいになります。



出来上がり線の5mm内側に
型紙をあてる



型紙に沿ってボンドを塗る
生地がずれないよう注意

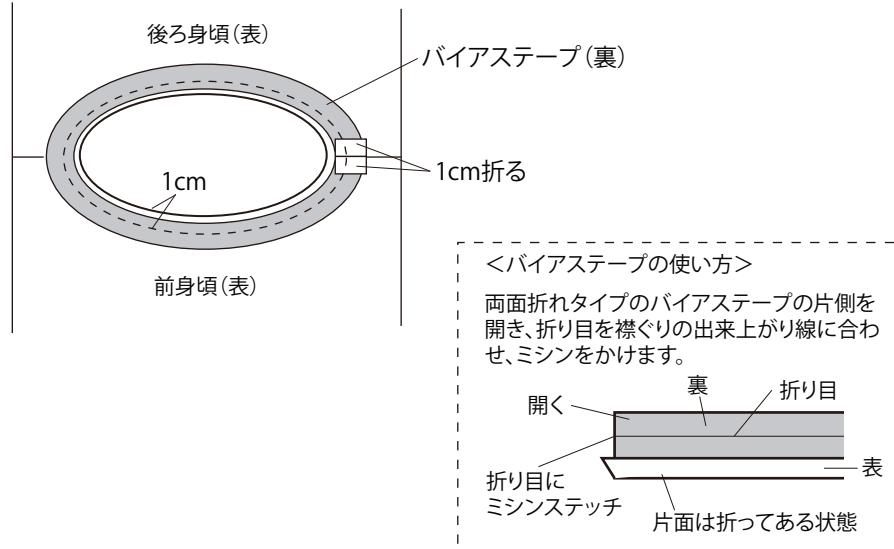


ボンドが乾かないうちに
型紙を外す

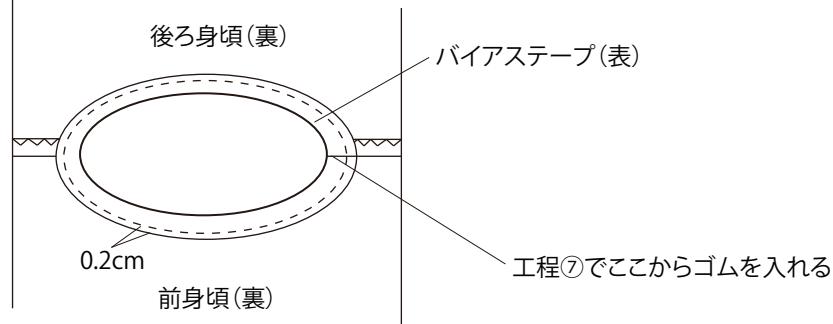
型紙を外すときれいなラインになる。
ボンドが乾いたら、このラインから
5mmのところをカットする

②前身頃と後ろ身頃を中表に合わせて肩を縫い、
2枚一緒にジグザグミシンをかけます。
ぬいしろは後ろ身頃側に倒します。

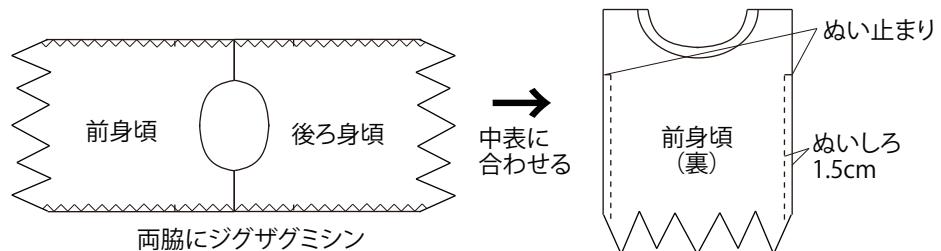
③襟ぐりにバイアステープを合わせて縫います。



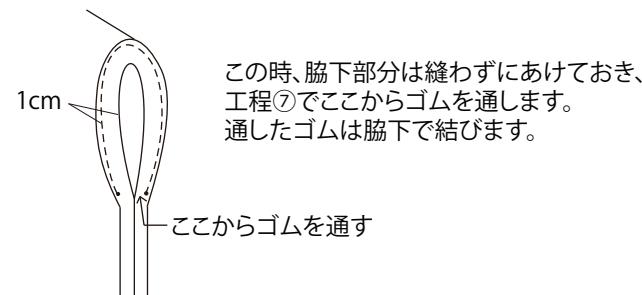
④身頃の襟ぐりの縫いしろを5mmにカットし、
バイアステープを身頃の裏側へ返してミシンをかけます。



⑤脇にジグザグミシンをかけ、ぬい止まりから裾まで縫います。
ぬいしろはアイロンで割ります。



⑥袖ぐりは、ぬいしろ(1.5cm)を折り、1cmのところにミシンをかけます。



⑦襟、袖にゴムを入れます。ゴムは端同士を結んで、余分はカットしてください。

<ゴムの長さ>

- ・襟…40~45cm
- ・袖…20~30cm × 2本

⑧実物大型紙を使ってフェルト(黒)をカットして顔パーツを作り、
ボンドで貼って完成です。

<实物大型紙>

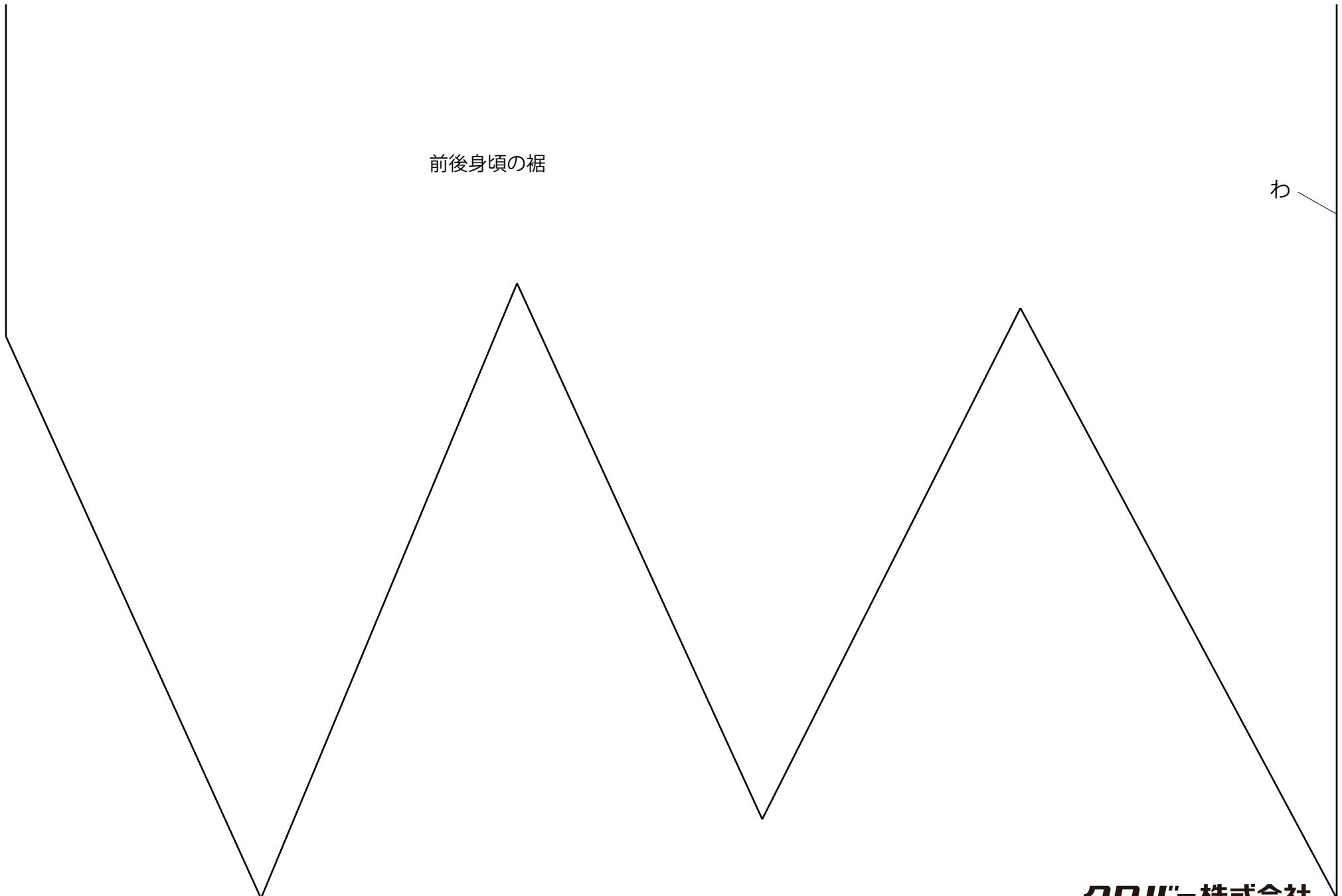
前後身頃

おばけの口

おばけの目

ぬい止まり

わ



前後身頃の裾

わ

クロバー株式会社

おばけの衣装 4-4